



善正寺だより

〒512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

お念仏称えつつ 苦悩を超えて
強く明るく 生き抜きます



急な病気で主人に先立たれた女性「淋しい淋しい」と落ち込んでおられました。しかし、初盆の法要に伺うと元気そうで、「よかったなあ、何が元気を回復させたのか?」と思いつつ、ふと見ると床の間の遺影写真の前に、毛筆書きの色紙が飾ってあります。

「奥さん、この色紙、あなたが書きになったのじゃありませんか?」と尋ねると「縁さん、分かりましたの?」と笑顔がこぼれました。

よく見ると「浄土真宗の生活信条」の第一条、「み仏の誓いを信じ 尊いみ名を称えつつ 強く明るく生きぬきます」というお言葉です。「あなたは、元々達筆なお方だけど、生活信条の言葉を書こうと思ったのは、どうしてですか?」と尋ねると、胸のうちを明かして下さいました。

「私は、弱い、何にもできない人間で、主人に急に先立たれて、毎日、泣いておりました。でも、いつまでも泣いていてばかりではあつち(お浄土)へ往つた主人を却って悲しませる。また、遇える世界(お浄土)で泣き顔で主人と顔を合

わすのは、申し訳ない。また、遇えるのだと思えば、この辛さを乗り越えて日暮らししなければ申し訳ない。そうだ、生活信条に、「強く明るく生きぬきます」と書いてあり、「えんさんも「苦難の人生を乗り越えて生きて往く道が、念仏する道だ」と言われましたので、弱く、暗い私にぴつたりの教えなのだ、と思いついて、この言葉を私の心の杖にして、生きていこう、と思ったのです。毎日、お参りする時、自分の書いた字を眺めて称えるようになりました。」涙を拭いながら、彼女は両手合わせてお念仏申されました。

「これもお浄土に往生されたご主人の還相回向のお働きですね。お念仏申しましょこと、一緒にお念仏申したことであります。」



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

☆行事ご案内☆

10月門信徒会例会 10月19日(日)朝8時半

報恩講打ち合わせ、11/2のお非時(松花堂弁当)

申込は10/27まで、複数可、電話でも受け付け

報恩講 11月2日午後1時半お非時弁当配布

11月3日午前10時講師九條孝義先生(滋賀)

一線会テレホン法話059-354-1454三分法話

三重組十三日講10月13日(久保田 蓮光寺様)

『初参式』募集来年4月18日(土)午後1時仏婦主催

5時の鐘撞きどなたでも歓迎、ご褒美有、年中無休

善正寺ホームページ32年間毎月発行の善正寺だより、

17年間毎日更新ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』

各 QR コードより訪問可。48万5千人が閲覧

新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を

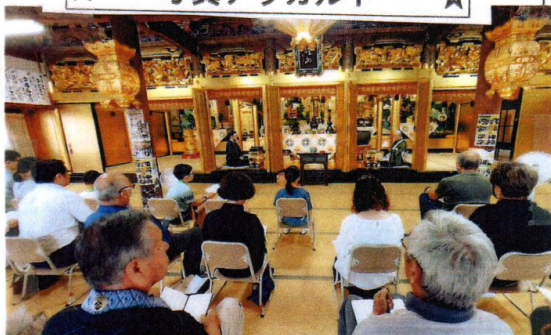
法事場所でお困りの方本堂使用可、日時寺に相談を

新共同墓「俱会一処」の石碑境内に建立、記名版あり。



浄土真宗の生活信条
「み仏の誓いを信じ 尊いみ名をとらえつつ 強く明るく生き抜きます」
「み仏の光りをお返し 常に自分が身をたえりみて 感謝のうちに参みます」
「み仏の教えにしたがい 正しい道を聞きわけて まことのみのりをひかめます」
「み仏の恵みを喜び 互にうやまい助けあい 社会のために尽します」

☆ 写真アラカルト ☆



坊守スケッチ

恩師との縁の糸

中学時代の女性担任の先生が、卒業後60年以上経っても、毎年お盆に名産の幸水梨を送って下さいました。しかし今年は全く音沙汰がないので、思い切ってこちらから電話を掛けました。すると

「この電話は現在使われていません」のメッセージ。おそらく施設に入られたか、亡くなられたのかのどちらかです。先生は40代で高校教師と結婚されましたが、お子様がいません。定年後は海外旅行や趣味を楽しむ生活を送られました。しかし晩年ご主人が病気になる、介護サービスの送迎車でリハビリに通われる時も、先生は家で過ごすよりも路線バスで追っかけて、介護施設で一緒に過ごす仲の良さでした。どんなに仲の良かった夫婦でも、いつかはどちらかが先に旅立つ時は必ず来ます。

無量寿経に「独生独死、独去独来」という一節があります。人は一人で生まれ一人で死ぬ。この世にきた時が一人なら去るのも一人という教えです。

ところでオーストラリアのグロニー・ウェアが『死ぬ瞬間の5つの後悔』という有名なブログを残しています。それは

- ① 自分に正直に生きればよかった。
- ② 働き過ぎなければよかった。



③ 思い切って自分の気持ちを伝えればよかった。

④ 友人との連絡を取り続ければよかった。

⑤ 幸せを諦めなければよかった。

彼は後悔しない人生を送るには、自分の心に正直に生き、全ての幸せに感謝することが大事だと言います。

「人生は出会いによって学び、別れによって成長する」と言われます。私も中学時代の恩師との縁の糸を長く結ばせて頂いたことが、その後の人生に大きな影響を与えました。縁が薄れ、絆がズタズタに切られる現代にあつて、縁の糸を大事にする生き方を、若い人々にもお伝えしたいと思います。

お悔み申し上げます

★中山美智代様(98)8月31日晩台
カンパ有り難う、

渡辺定美様、水谷勝子様、TS様、TT様、BS様、他、志、切手、感謝

お知らせ

※11月2日報恩講のお非時・松風堂弁当を行事さんが希望数を伺います。締切10月27日。複数可、他所の方も是非お申し込み下さい。電話でもOK。

若坊守の日記No.129

猛暑の夏休みが終わりました。夏休み中、長男(中二)は学校から広島へ一泊二日の平和学習に行きました。長女(小五)は習字やポスター、自由研究の傍ら、漢字検定の勉強を頑張りました。昨年の六月にも準会場指定を受けた私の書道教室を会場に漢検を実施し、今年八月が二回目です。受験者十人以上が実施条件なので心配していましたが、十四人も受験してくれました。中には母娘で受験してくれた方もあり、「久しぶりの試験で緊張したわ!」と、試験後お母さんのほうは達成感いっぱい話しておられました。

漢検の問題はただ読み書きだけでなく、音訓や書き順、熟語等もあるので過去問で勉強する必要があります。小学生のうちから、試験日に合わせて学習計画を立てて勉強するという経験は無いので、良い体験になると思います。更に合格すれば自信にも繋がります。不合格でも頑張った事実には変わりません。これからも苦手意識を持たずに頑張ってください。

「目指せ、全員合格!夏休みは漢検!」

こんなスローガンで来年も皆さんの挑戦をお待ちしています。



俳壇 & 柳壇

盆参り黙礼だけで通り過ぐ 釋妙水
駆け抜けるベース踏みしめ夏終わる
幼子や黙って開ける冷蔵庫 釋榮邦
雑草の緑生き生き炎天下 釋榮邦
願わくは程よく降れよ雨台風
絵手紙のハガキに詰まる友の処暑
朝顔や竹をつたいて窓覆う 釋住安
茗荷の子今年も我が家にざわしけり
柿いろみ去年はひとつ今年八つ
六月の空襲伝う人ぞ逝く 釋妙鈴
愛記す千人針や盆の風
カーテンをそよりと揺らし今朝の秋
栗数個供えられてる辻地蔵 釋妙梅
ドングリの屋根打つ音や風渡る
亡夫の靴磨いた日もあり桐一葉
薫風よ今日の補修は自由席 釋秀龍
炎屋の駅あめ玉のざらざらす
朝顔や父のランパン破れおり
平和なれ児ら鐘をつく終戦日 釋清風
語り部の悲話に聞き入る原爆忌
安らかに一日終わりにて秋夕焼
散歩するポチにはポチの地図があり
ゴキブリと叫ぶ夫に叩く妻

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」382号をお届けします。◇歴史上もつとも暑い夏でしたが、異常が普通になりそうな今後が懸念される。◇短い秋は報恩講の季節だが、簡素化傾向が淋しい。◇葬儀の簡素化、一日葬、一時間葬もあり、驚く。「本願力にあひぬれば空しく過ぐる人ぞなき」の聖語噛みしめたい。合掌。

先日同級生の計報連絡を受けた親友二人が、葬儀後しばらくしてから弔問に訪れました。故人の妻は「家族葬でしたので」と言い訳をしてドアを半開きにしただけで、家の中へ入れてもらえませんでした。どんなに親しかった友人でもこんな寂しいお別れをしなければなりません。残された私も親しかった友人と連絡を取り続け、思い切って電話をかけてみましょう。七十年代は同窓会をする元気があります。が、八十年代はお世話する人がいなくて同窓会もありません。体力が衰えて介護が必要になると施設入りする人も多くなります。施設入りすると音信不通になり、家族以外は面会謝絶、電話すら掛けられません。施設内でも急に仲良くなり、会話が弾むわけではありません。但し社交的な人は楽しい時間を過ごされますが大半は諦めの表情です。どうか在宅の元気な間に会いたい人にはすぐにでも会いに行く努力をして下さい。これが元気の秘訣です。先日八十年代の方が「高齢になると喉の奥の通りが悪くなると誤嚥性肺炎になり、命を落とす危険がある。同世代の方で餅を喉に詰まらせて亡くなりました。そこで医師の勧めでボイストレーニングを受けています」と言われました。私も高音の声が出にくくなりました。声帯は年齢を正直に映し出します。まだ若いと過信せずに今できる小さな努力を積み重ねましょう。9月は20日(土)21日(日)午後一時半「秋季永代経」。11月2日、3日は報恩講です。お誘い合わせてお参り下さい。「耐え難き暑さを越えて老いの秋」ご自愛下さい。合掌

令和七年十月

善正寺坊守 拜